

ポジティブワークとその後 吃音学習指導案

千葉市立松ヶ丘小学校 ことばの教室担当 渡邊 美穂

ポジティブ心理学をワークにして、授業を行った様子とその時の対話を紹介します。

1 題材名 自分の強みを知って、生かそう！ ～ポジティブワーク～ (仮名 楓くん)

2 はじめに

私は、ことばの教室に通って来る子と「対話」を大事にしてきた。以前から、「対等性」「応答性」「答えを決めずに対話を続ける」という感覚はもっていたが、たくさんの本や講習会で学び、振り返り、整理をしていく中で、「対話」の姿勢であったと気が付いた。そして、「対話」の意味をしっかりと整理し、もっと大切に丁寧にしようと考えたようになった。

そのために子どものことをよく理解し、立場や状況を受け止めながら思ったことや感じたことを伝えながら「対話」をしてきた。私の中の価値観を押し付けるというのではなく、「私はこう思う。」といくつかの意見の1つとして考えを出したり広げたりしてきた。

また、そのような「対話」から「どんなことばが、子どもの力を引き出すきっかけになるか」ということに私は、着目した。どんな「対話」をしたかと振り返り後で整理した。通常の学級と同じように答えを導き出したり、自分の意見を説明できたり、他の人と意見が交換できるようになるような取り組みがことばの教室でも大事だと考える。

3 題材について

「自分のことを知る」について今回は、「ポジティブワーク」を行う。本児のもっている個々の強みを24の項目の中から、考える。そのときに、どうしてその強みがあると感じたのか、対話の中で聞いていく。

項目の中で難しい言葉を使用することにも意味がある。少し難しい言葉を使うことで、自分の強みや良さに対する気持ちを高めたいと考える。

また、本児がエピソードを忘れている場合は、担当者が「こんなことがあったね」と想起するような問いかけをしていく。本児が、自分の強みを知りながらそれを日常に生かしていけるように対話を

1	創造性	9	熱意	17	謙虚さ
2	好奇心	10	愛情	18	思慮深さ
3	知的柔軟性	11	親切心	19	自制心
4	向学心	12	対人関係力	20	美的センス
5	大局観	13	チームワーク	21	感謝
6	勇敢さ・勇気	14	公平さ	22	希望
7	忍耐力	15	リーダーシップ	23	ユーモア
8	誠実さ	16	広い心・許す心	24	見えない力を信じる力

【表1：ポジティブ心理学24の項目】

4 本児について

本児のこれまでの様子を「対話」という観点でまとめた。

(1)入学前～1年生

入学前にことばの教室に入級相談に来た。モノレールの真似をしてブロックで遊んでいた。

自分から話すことは、モノレールや電車のことだった。

1年生の頃は、一方的に話す様子はまだあったが質問に答えるようなやり取りが少しできた。怒った口調になることが多く、吃音の話はあまり話したがらなかった。電車の話なら楽しく話すことができたが、他のことは対話にならず、一方通行な会話になっていた。そんな中、吃音キャラクターの話をするとう対話できた。

<実際のやりとり（一部）>

担当者：楓くんをどもらせる物があるとしたら、それは体のどの辺りにあると思う？

楓くん：（すぐに）それは、のどだよ。決まってるじゃん。

担当者：そうか。じゃあ、それはどんな形なの？

楓くん：そうだなあ、なんかぼくみみたいな感じ。人間みみたいな感じでね、顔がポヨポヨなの。

担当者：顔がポヨポヨ？ちょっと、描いてみて。（画用紙を渡す）

楓くん：えーと、（描きながら）顔がね、ポヨポヨでね、なんか、かわいそうな顔になっちゃった。

担当者：どうして、ポヨポヨなの？

楓くん：だってさ「どもれー！」ってのどで叫んでさ、疲れているからだよ。

担当者：これは、楓くんののどで、「どもれー！」って叫んだ後ってこと？

楓くん：そうそう、だって大きな声で言わないと、ぼく、どもらないからね。

担当者：へえ、なるほど。じゃあ、名前は何ていうの？

楓くん：のどの辺りにいてね「どもれー」って言うから「どもーるくん」だよ。

担当者：いいね。「どもーるくん」だね。今度は、色を塗ってみようか。どんな色なの？

楓くん：（色鉛筆をとって）顔はね・・・それで、体は・・・。（上半身は青、下半身は赤で塗った）はい、出来上がり。

担当者：これは洋服？洋服を着ているの？

楓くん：うん。ぼくが着てる洋服だよ。（その日、着ていた自分の洋服と同じ色で塗った）

担当者：「どもーるくん」とおそろいだね。仲良しなんだね。

楓くん：そーだよ。

(2) 2年生

2年生は、自分研究をした。ヨシタケシンンスケさんの「ぼくのニセモノをつくるには。」（ブロンズ新社）をもとに「自分ってどんな人なのか」と考えることにした。

<実際の対話（一部）>

（本を読み終わってから）

楓くん：おもしろかったー。

担当者：どこがおもしろかったの？

楓くん：自分の代わりに何でもやってもらおうとしたけんたくんが、失敗したから。

担当者：そうだね、完璧にコピーしたのにすぐにお母さんにばれちゃったね。

楓くん：そうそう、だってロボットそのままの形だから。

担当者：見た目にはわかってしまうかもしれないけれど、中身は結構コピーしてたよね。どんなことをコピーしたか、見てみよう。

できることとか、苦手なこととかなんか、いっぱい話してたよね。

楓くん：うん。

担当者：楓くんのできることをいくつか考えてみよう。

楓くん：そう言われてもね。あるかな・・・。

担当者：身近なことでいいんだけど、どう？

楓くん：あー自転車の片手運転、あと一人で買い物でしょ、あと・・・歌詞を見ないで10曲歌えるよ！

担当者：へー。いろいろあるね。苦手なことは？

楓くん：コチョコチョががまんできない。お父さんがしてくるんだよ。

それから、ピーマンが嫌いでは食べられない。あと、痛いのか我慢できない。

担当者：これもいろいろあるね。じゃあ、どもることについてもあるの？

楓くん：あんまりないけど・・・。

担当者：音読とかは？

楓くん：あーあるね。この前やった吃音カルタで「ぬかされて、ホッとほするが くやしいな。」の札だね。ぬかされてホッとほする気持ちはよくわかるよ。

でも、本当はやれるのにぬかされたと思うと悔しくなるよ。

担当者：そうか、発表も同じ？

伊藤伸二さんがことばの教室に来た時に質問をしようと思ったけど、泣いちゃったね。

楓くん：はずかしかったし、どもって言いにくかったけれど、やっぱりやらなくちゃって思った。

担当者：そうそう、ドキドキするかもしれないから、紙に書いて読めなかったら、その紙を見せればいいねって用意したのがよかったね。あきらめないうで、がんばっていたよね。

楓くん：うん。がんばれたと思う。

この対話のあと、ことばの教室学習発表会で発表しないと言っていた本児は、担当者と一緒に発表をすることができた。

(3) 3年生

吃音についてアンケートに答えてほしいと、吃音グループの友達に頼まれて答えた。

友達からの質問	本児の答え
① いつからどもり始めたのですか。	年長からです。
② どんなタイプのどもり方ですか。	連発です。
③ どんな工夫をしていますか。	足で出ろ出ると足踏みをしながら思っている。
④ どんなときにどもりますか。	日直の話のときです。
⑤ 嫌なことがあったときの切り替え方は？	電車やチューブのことを考えて切り替えます。
⑥ 誰に相談しますか。	お父さんとお母さんです。
⑦ 解決するのは、どんな方法ですか。	自分で考えて解決する。

吃音について自分で考えて、語るができるようになってきた。そして、吃音についてだけでなく自分自身についての自信がでてきた。学校生活で、できるようになったことが増えた。発表も好きになって、どんどん手を挙げていると本児が話していた。

5 学習内容（自分の強みを知って、生かそう！ ～ポジティブワーク～）

(1) 単元の目標

- 「対話」を通じて自分の強みを知ることができる。
- 自分の強みを発揮する場（ことばの教室学習発表会）を生かすことができる。

(2) 単元の学習予定

ポジティブワーク	対話のポイント	絵探し	対話のポイント
○ポジティブワークの24項目の内容から自分に当てはまるものチェックする。	○ポジティブワークの24項目が自分の中にあることを知らせる。	○「絵探し」の構想を練る。	○学習発表会に向けて「絵探し」を準備する思いを確認する。
○ポジティブワークの強みエピソードを書く。(本時)	○ポジティブワークのエピソードについて対話をしながら本児の強みを発見していく。	○「絵探し」の絵を描く。(本時)	○絵を描きながら、思っていることや考えていることを引き出す。
○自分の強みを日常に生かすことや、人とかかわりに生かすことについて考える。	○自分の日常に生かせることを知らせていく。	○「絵探し」で遊ぶ。	○「絵探し」を通じて友達に説明する方法を一緒に考える。
		○「絵探し」を学習発表会で紹介する。	○学習発表会で強みを生かしながら、発表をする方法を一緒に考える。

(3) 本時の目標

- ポジティブワークから、自分の強みを整理し理解することができる。
- 学習発表会に向けて「絵探し」を作成することができる。

(4) 本時の展開

学習内容	担当者の支援	◎評価 ・教材や教具
1 あいさつをする。	・自由な会話から、学習への切り替えになるように声をかける。	・ノート
2 学習内容を確認する。	・学習の内容を確認して、安心して取り組めるようにする。	・ポジティブワーク24項目表
3 自分の強みについて考える。	・前回、自分の強みを24項目の中で確認した中から、本児の特に一番の強みについて対話をする。	◎ポジティブワークから、自分の強みを整理し理解することができる。
4 自分の強みとその理由を書く。	・対話をしながら本児の強みを発見し、意味付けをしていく。	・書き込み用紙
5 「絵探し」を作る。	・自分の強みの理由やエピソードを紙に書くように伝える。	ノート
6 ふりかえりをする。	・ノートに本児の強みを記載する。	・絵探しの絵
	・「絵探し」は、好きな電車の絵の中にどもある大人の人を入れる作業を手伝いながら完成に導いていく。	◎学習発表会に向けて「絵探し」を作成することができる。
	・本児が絵を描く作業を手伝いながら、思っていることや考えていることを対話で引き出す。	ノート
	・ポジティブワークの強みを生かして、学習発表会に紹介できるように声をかける。	

<当日の授業の様子>

「3. 自分の強みについて考える」の対話

担当者：先週、自分の強みを考えるっているワークシートをやってもらったね。覚えてる？

楓くん：あーあれね。覚えてるよ。

担当者：これだよ。(ワークシートを出す)

楓くん：はい、はい。わかっている。

担当者：楓くんは、自分の強みのところ、たくさんまるがついてるね。

楓くん：うん。

担当者：そのたくさんの中で、一番の強みってどれかな？

楓くん：うーん。どれだろう。どれもいいんだよねー。えーと。1つだけ？

担当者：うん。でも、2つでも、3つでもまあ、いいけどどれかな？

楓くん：ユーモアかな。

担当者：他には？

楓くん：ユーモアだね。1つでいいよ。

担当者：たくさんある中から、1つに決めたのは何で？

楓くん：なんかね、みんなにね「おもしろい」って言われるから。

担当者：みんなって誰？クラスの友だち？家族？

楓くん：どっちも。

担当者：家ででも、クラスでもおもしろいって言われるんだね。どんなときに言われたの？

楓くん：なんか、おやじギャグとか言ったときみんなが笑ってた。(笑)

担当者：へーおやじギャグ言うんだ！1つ言ってみて！

楓くん：えー今はいいよ。言いたくない。

担当者：あら。そうなの。じゃあ、今度思いついたときに教えてね。

楓くん：・・・・。(笑)

担当者：それで、他に「ユーモア」が1番の強みになった理由はある？

楓くん：んー。

担当者：そういえば、今度のことばの教室の学習発表会で「絵探し」を発表するんだよね。

楓くん：あーそうそう、お母さんが「おもしろそう」って言ってた。

担当者：そうだよ、ね、「ウォーリーをさがせ」みたいに、絵の中に「伊藤伸二さん」を探すんだよ、ね。

楓くん：そう、そこがおもしろいって言ってた。(笑)

担当者：伊藤伸二さんと会ったことがうれしかったんだよね。でも、「伊藤さんをさがせ！」という絵探しを作ってるって言ったら伊藤さんはびっくりするね。ところで、発表会はどうするの？私、何か手伝う？

楓くん：いーよ。大丈夫。あっ、でも、絵を貼るボードとか運んでよ。重いから。

担当者：わかった。準備は、手伝うね。じゃあ、発表のことと、絵探しのことを伊藤さんに報告しようよ。

楓くん：んーいいけど。いつ会えるかな。

担当者：吃音キャンプで会えるよ。

楓くん：あそっか、じゃあ、そのときね。

担当者：報告したらなんていうかな。伊藤さんは。

楓くん：「おもしろい」じゃない？伊藤さんが伊藤さんを探せるかな？

担当者：あはは。絵探しで伊藤さんに伊藤さんを探してもらおうよ！

楓くん：うん。